

神奈川県保健医療計画 進捗状況評価調書

＜項目＞

第4章 医療の情報化の推進

第2節 ICT（情報通信技術）を活用した医療情報の共有

とりまとめ担当課：健康医療局保健医療部医療課

1 課題に対するこれまでの取組実績

(1) 医療情報の共有	
<ul style="list-style-type: none"> → 「神奈川マイカルテ（お薬手帳の電子化）」実証実験を、慶應義塾大学が設置したライフクラウド研究コンソーシアムと県で平成25年5月から平成26年9月まで実証実験を実施。 → その後「神奈川マイカルテ（お薬手帳の電子化）」の取組みについては、26年10月から開始した、県が認証した民間事業者による「かながわマイカルテ（電子版お薬手帳アプリ）」の運営を継続し、27年度からは、県が運営する、健康情報を一覧化できるアプリ「マイME-BYOカルテ」の取組みと連携して、医療情報の共有を進めた。 <p style="margin-left: 20px;">＜マイME-BYOカルテ登録者数＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録者数：52,380人(H30.3.31時点) 	
(2) 医療情報の適正な管理	
<ul style="list-style-type: none"> → 「かながわマイカルテ（電子版お薬手帳）」については、県の定めた個人情報の保護についての認証要件を満たす民間事業者によって運営、情報の管理が行われた。 → 「マイME-BYOカルテ」の導入においては「神奈川県マイME-BYOカルテセキュリティポリシー」、「神奈川県マイME-BYOカルテ個人情報保護方針」等を作成し、法令や国等が定めるガイドラインを遵守するとともに、アクセスログの監視や暗号化通信などにより、情報漏えい等に対する十分なセキュリティ対策を行った。 	

2 参考指標の推移

取組区分	指標区分	指標名	単位	神奈川県					出典等
				H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
(1)	県	神奈川マイカルテ実証実験の参加者数	人	493	722	—	—	—	県調査(H25.5～H26.9)
(1)	県	「かながわマイカルテ（電子版お薬手帳アプリ）」の参加者数	人	—	1,622	3,466	—	—	認証事業者調査(H26.10～H28.3)
(1)	県	「マイME-BYOカルテ」の登録者数(※1)	人	—	—	2,724	15,658	52,380	県調査(H28.3～H30.3)

※(1)「かながわマイカルテ」の取組みを継承した事業

3 課題ごとの進捗状況の評価

(1) 医療情報の共有

評価	A ・ B ・ C ・ D
評価分析	<ul style="list-style-type: none"> ・ 神奈川マイカルテ実証実験の参加者拡大に向けた取り組みを実施した結果、本実験終了時の平成26年9月末時点で700名以上の利用者を確保することができた。 ・ 神奈川マイカルテ実証実験後、26年10月に県に認証された1民間事業者において、「かながわマイカルテ（電子版お薬手帳アプリ）」の運用を継続し、平成28年3月末時点で3,466名の利用者が参加した。 ・ 平成28年3月から「マイME-BYOカルテ」に移行して以降、平成30年3月末時点で登録者数は目標の5万名を超える52,380名となり、今後も登録者数の増加を見込んでいる。
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 薬局において電子版お薬手帳が利用できる環境整備が進み、医療情報の共有の取り組みが促進された。 ・ 県の実証実験を経て、県が認証した民間事業者を運営主体として実施している電子版お薬手帳については、さらに順調に利用者を増やしている。 ・ 「マイME-BYOカルテ」の登録者数が順調な進捗をみせており、お薬情報や健康診断結果等の健康情報を県民が自ら管理するなど、健康状態の「見える化」を促進している。
第7次計画 (H30～H35) での取組の 方向性	<p>P109</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県民が、日々の健康管理に「マイME-BYOカルテ」を活用できるよう、市町村や企業・団体、民間のヘルスケアアプリなどと連携して、「マイME-BYOカルテ」の普及を推進します。 ・ 市町村と連携した電子母子手帳の取組みなどにより、生まれてからの生涯にわたる個人の健康情報を「マイME-BYOカルテ」に記録・蓄積し、県民が自身の健康情報を自ら管理することを推進します。 ・ 市町村と連携し、ウォーキングなど健康増進に向けた取組みへの「マイME-BYOカルテ」の活用を推進します。 ・ 企業や団体がCHO構想（※3）に取り組む際、その企業や団体の従業員が自身の健康を管理するためのツールとして、「マイME-BYOカルテ」の活用を推進します。 ・ 「マイME-BYOカルテ」に蓄積された県民の健康情報を、市町村が取り組む健康増進施策や企業の健康経営などの目的で活用できるしくみを整備します。 <p>P171</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県、市町村及び医療機関・医療関係者は、安全・安心で質の高い医療提供体制の整備を県民に提供するために、情報通信技術（ICT）を活用した患者・医療情報の共有を進めていきます。 ・ 県、市町村及び医療機関・医療関係者は、医療機能の分化・連携を促進するため、情報通信技術（ICT）を活用した地域医療情報ネットワークの構築を進めていきます。

(2) 医療情報の適正な管理

評価	① A ・ B ・ C ・ D
評価分析	<ul style="list-style-type: none"> ・「かながわマイカルテ（電子版お薬手帳アプリ）」については、県の定めたシステムのセキュリティや個人情報の取扱いに係る認証要件を満たす民間事業者によって適正に運営が行われた。 ・「マイME-BYOカルテ」についても、県の定めたシステムのセキュリティ基準や個人情報の取扱いに基づき適切に運営が行われた。
評価理由	「かながわマイカルテ（電子版お薬手帳アプリ）」やマイME-BYOカルテの運営にあたっては、適正な情報管理、セキュリティ対策などが講じられた。
第7次計画（H30～H35）での取組の方向性	<p>第7次計画への位置づけは行っていないが、「マイME-BYOカルテ」については、「神奈川県マイME-BYOカルテ セキュリティポリシー」や神奈川県個人情報保護条例など、県の定めたシステムのセキュリティ基準や個人情報の取扱いに基づき適切に運営を行っていくとともに、システムに対してセキュリティ監査を実施していく。</p> <p>また、医療機関間の連携にあたっては、国の定めるガイドラインや標準規格への適合を求め、適切な管理が出来るように図っていく。</p>

4 総合評価

評価	評価理由
A	ICT（情報通信技術）を活用した医療情報の共有に向けた課題については、いずれについても、課題解決に向けて順調に進捗している。